

3 ラテン方阵

◇ ラテン方阵 ◇

ガロアが発見した有限体は、これから扱う **ラテン方阵** で威力を発揮します。もっとも有限体を用いるまでもなく、簡単に作られる場合もあります。ここでは、そんな簡単な場合を見ていくことにしましょう。

さてラテン方阵は、すでに目にしています。下記の2つは (p32 参照)、どちらも **3次** のラテン方阵 (**次数3** のラテン方阵) です。

3の位

1	2	0
0	1	2
2	0	1

1の位

0	2	1
2	1	0
1	0	2

どちらも、「行」「列」とともに「0、1、2」が (1回ずつ) 現れていますね。「対角線」には「0、1、2」の他に「1、1、1」が現れていますが、ラテン方阵では「対角線」は問題にしません。

ラテン方阵の「ラテン」は、ラテン文字から来ています。歴史的には、**数字** (0、1、2、……) ではなく、**ラテン文字** (A、B、C、……) が使われてきたのです。そもそもラテン方阵では和を問題にしないので、文字でも記号でも区別出来れば何でもよいの